

福井工業大学 後援会会報

Fukui University of Technology 2022

2022年10月31日発行

福井工業大学
後援会

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号
電話 (0776) 29-7864
FAX (0776) 29-7891
E-mail koenkai@fukui-ut.ac.jp

65



特集 極北の無人島で原初の生命の痕跡を探る ～カナダ北極圏・サマセット島における学術的冒険の記録～ [6～7P]

特集 大学の各センター紹介 [12～14P]

- ・令和4年度後援会定期総会報告 [3～5p]
- ・就職支援課より [16・17p]
- ・工大サミット [8p]
- ・医務室よりお知らせ [18p]
- ・新学部設置(経営情報学部) [9p]
- ・第59回大学祭開催報告 [19p]
- ・あまみず飲料化プロジェクト [10p]
- ・学内奨学金制度紹介 [20p]
- ・こよりプロジェクト [11p]
- ・相談窓口・後期行事予定 [21p]
- ・吉本興業(株)との包括連携協定について [15p]
- ・令和4年度保護者懇談会開催報告 [22・23p]

保護者対象 令和4年度就職セミナーのご案内 [24P]

ご挨拶

福井工業大学後援会 会長 増田 秀勝



福井工業大学後援会の会員及び関係者の皆様、日頃は後援会活動にご理解とご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

令和4年度会長に拝命いたしました増田秀勝と申します。微力ではございますが、皆様のご指導の下、後援会運営に携わっております。

さて、新型コロナウイルスの感染問題から2年以上が過ぎましたが、未だに終息の目途が立ちません。コロナ渦中、価値観や生活環境が違うことから、学生たちにもWith（ウィズ）コロナからAfter（アフター）コロナやBeyond（ビヨンド）コロナに気持ちを切り替える時期になってきているかもしれません。

徐々にではありますが、イベント等におきましても人数制限無しで開催されているものもあります。全てとは言いきれませんが元の生活スタイルに戻りつつある中、今一度原点に戻り、感染対策を意識して安心して学べる福井工業大学となる様に、支援して参ります。

学生たちの就職活動のスタイルも変わり、オンラインでの企業面接も増えてきているとお聞きしております。双方にメリット・デメリットが挙げられておりますが、今しばらくはこの様なスタイルが継続するかと考える中で、就職活動の支援にも力を注いで参ります。保護者の皆様にも就職活動の内容が分かるようにリーフレットを作成して配布できるように進めているところです。

全ての学生たちが福井工業大学での学びを知識とし、学力を活かし新たな時代を作る礎となることを切に願いながら、後援会活動を通して、前文でも申し上げましたが就職活動・クラブ活動の支援を行い、更には学生たちが大学生活を安心して過ごせる環境整備を行うことで、一人でも多くの学生たちが社会に出てコロナ禍で培った学力が発揮できる、そして学んだ分だけ明るい未来が待っていることを伝えつつ、後援会活動を展開して参ります。

皆様、後援会活動に引き続きご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度 後援会定期総会報告について

5月28日(土)に福井キャンパスにおいて、令和4年度福井工業大学後援会定期総会が開催されました。また、初めて総会の様子をYouTubeでライブ配信を行いました。

総会には掛下学長をはじめとする大学役員の出席を賜り、学長挨拶では、コロナ禍の中、対面とオンラインを交え教育研究を実施していることに加え、本学の概要やプロジェクト、新しく設立したセンターについてお話がありました。

総会は、総会員数2209名中、委任状905名と総会15名の出席をもって、後援会規約第4章第15条第1項により総会成立の報告後、議事に入りました。

報告議案では、第1号議案「令和3年度事業報告」、第2号議案「令和3年度収支決算報告」について事務局より説明が行われました。また加藤監事より会計監査の結果、適正に処理されていた旨報告があり、両議案とも満場一致で承認されました。

協議議案では、まず、第1号議案「福井工業大学後援会規約改正」が審議されました。監事1名の任期中の退任に伴う監査体制強化のため、後援会役員の規約改正案について事務局より説明されました。改正案に異議はなく原案の通り承認されました。

第2号議案「令和4年度役員選出」の審議では、令和3年度をもって会長以下役職者が任期満了となることに伴い、今年度は、新たに会長・副会長1名・監事1名、新任理事12名、計15名の方々が、役員会にて選出されたことが事務局より説明され、満場一致で承認されました。

その後、新会長に就任された増田会長が議長を務め、第2号議案「令和4年度事業計画(案)及び収支予算計画(案)」の審議に入り、事業計画(案)として「主要行事事業」「就職活動支援事業」「クラブ活動支援事業」について年次計画の説明が行われました。また新規事業として、卒業生アンケート結果を踏まえた「学食利用促進事業(仮称)」を実施することが事務局より説明されました。加えて、コロナ禍により実施できていなかった海外インターンシップ、海外語学研修の支援事業に再び補助を行う説明がありました。

収支予算(案)では、昨年の実績および新規事業を勘案した収支予算であることが説明され、事業計画(案)及び収支予算(案)が、満場一致で承認されました。

全ての議案審議終了の後、令和3年度をもって役員任期満了となった11名の方々へ感謝状を贈呈、後日郵送する旨が報告されました。

令和4年度 福井工業大学後援会役員

会 長 福井県 増 田 秀 勝

副会長 福井県 廣 瀬 隆 幸
監 事 福井県 加 藤 豊

副会長 福井県 竹 原 大 輔
監 事 福井県 吉 田 貴 子

理 事 福井県 柳 町 英 利
理 事 福井県 平 井 正 幸
理 事 福井県 小 林 恵美子
理 事 石川県 三 瀬 由 美
理 事 石川県 山 廣 純 子
理 事 石川県 田 中 さかえ
理 事 石川県 埴 田 大 助
理 事 富山県 川 波 智 香
理 事 滋賀県 速 形 俊 久
理 事 兵庫県 大 山 由梨香
理 事 福井県 内 海 昭 三
理 事 福井県 大 島 寛 一
理 事 福井県 山 口 麻友子

理 事 福井県 山 崎 真 樹
理 事 石川県 宮 吉 俊 行
理 事 愛知県 西 尾 仁 志
理 事 和歌山県 藪 雅 仁
理 事 福井県 川 畑 文 美
理 事 福井県 田 村 成 実
理 事 福井県 宮 澤 拳 江
理 事 福井県 佐 藤 眞 喜
理 事 福井県 横 山 る み
理 事 京都府 増 田 義 人
理 事 大阪府 川 崎 千 左
理 事 愛知県 大 西 弥 生
理 事 佐賀県 立 川 実

理 事 熊本県 石 松 し の ぶ
理 事 福井県 三田村 光 代
理 事 福井県 大 西 真 盛
理 事 福井県 山 田 英 信
理 事 石川県 鍛 冶 智 恵
理 事 石川県 高 瀬 百合子
理 事 富山県 薄 島 健 志
理 事 愛知県 永 井 隆 之
理 事 滋賀県 竹 村 孝
理 事 兵庫県 北 内 克 幸
理 事 佐賀県 古 川 留美香
理 事 佐賀県 小 川 小夜美
理 事 大分県 山 内 裕 恵

(順不同)

令和4年度 収支予算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[収入の部]

(単位 円)

項 目	前年度決算額	本年度予算額	前年度決算額との差異	備 考
会 費	17,137,500	16,537,500	△ 600,000	
会 費	17,137,500	16,537,500	△ 600,000	@7,500×2,205名 (R4.4.6現在)
雑 収 入	1,112	30,000	28,888	
雑 収 入	1,112	30,000	28,888	預金利子など
繰 越 金	12,156,718	11,298,705	△ 858,013	
前年度繰越金	12,156,718	11,298,705	△ 858,013	
収 入 合 計	29,295,330	27,866,205		

[支出の部]

(単位 円)

項 目	前年度決算額	本年度予算額	前年度決算額との差異	備 考
会 議 費	19,640	300,000	280,360	
会 議 費	19,640	300,000	280,360	役員会会議費、定期総会費用等
需 要 費	1,016,663	1,400,000	383,337	
消 耗 品 費	54,484	100,000	45,516	送付用封筒、文房具
通 信 費	927,639	1,100,000	172,361	総会、会報、各種案内発送
印 刷 費	34,540	200,000	165,460	資料発送用封筒印刷費
事 業 費	15,741,692	21,500,000	5,758,308	
厚 生 補 導 費	3,730,424	7,000,000	3,269,576	通信環境構築補助 (@5000×1年生学生数)2.6百万、 予防接種0.5百万、 コロナ対策費2.6百万、 食育支援1.3百万
クラブ活動費	8,382,176	8,400,000	17,824	全国大会出場補助
英語留学支援費	708,000	1,000,000	292,000	TOEIC 受験、 海外語学留学補助 (春・アメリカ)
就職支援費	1,355,800	2,500,000	1,144,200	キャリアセンター事業
地区活動費	197,172	1,200,000	1,002,828	オンライン懇談会 学校紹介 就職セミナー費用
創立記念積立金	300,000	300,000	0	
会報発行費	1,068,120	1,100,000	31,880	年2回発行予定
慶 弔 費	40,000	100,000	60,000	
慶 弔 費	40,000	100,000	60,000	
旅 費	142,000	500,000	358,000	
旅 費	142,000	500,000	358,000	式典等における 役員移動費
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
雑 費	36,630	50,000	13,370	
雑 費	36,630	50,000	13,370	
予 備 費	0	3,016,205		
予 備 費	0	3,016,205		
支 出 小 計	17,996,625	27,866,205		
繰 越 金	11,298,705	0		
次年度繰越金	11,298,705	0		
支 出 合 計	29,295,330	27,866,205		

[積立金会計]

(単位 円)

名 称	前年度残高	今年度積立金	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立80周年記念積立金	600,006	300,000	0	900,006	

令和3年度 収支決算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

[収入の部]

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	予算との差異	備 考
会 費	17,272,500	17,137,500	135,000	
会 費	17,272,500	17,137,500	135,000	@7,500×2,285名
雑 収 入	30,000	1,112	28,888	
雑 収 入	30,000	1,112	28,888	預金利子、インフル エンザ補助戻し
繰 越 金	12,156,718	12,156,718	0	
前年度繰越金	12,156,718	12,156,718	0	
収 入 合 計	29,459,218	29,295,330	163,888	

[支出の部]

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	予算との差異	備 考
会 議 費	400,000	19,640	380,360	
会 議 費	400,000	19,640	380,360	役員会議諸経費
需 要 費	1,300,000	1,016,663	283,337	
消 耗 品 費	100,000	54,484	45,516	事務用品
通 信 費	1,000,000	927,639	72,361	会報発送、定期総会書 面開催資料・役員会案 内書類発送、懇談会オ ンライン面談資料発送 料等
印 刷 費	200,000	34,540	165,460	封筒等印刷代
事 業 費	18,600,000	15,741,692	2,858,308	
厚 生 補 導 費	4,300,000	3,730,424	569,576	通信環境構築補助、 インフルエンザ 予防接種補助、 コロナ対策費
クラブ活動費	8,400,000	8,382,176	17,824	地区大会、 全国大会出場補助
英語留学支援費	1,000,000	708,000	292,000	学内TOEIC受験料補助
就職支援費	1,500,000	1,355,800	144,200	就活手帳配布、キャ リアセンター事業等
地区活動費	2,000,000	197,172	1,802,828	地区懇談会諸経費
創立記念積立金	300,000	300,000	0	
会報発行費	1,100,000	1,068,120	31,880	会報発行 (5月、9月)
慶 弔 費	150,000	40,000	110,000	
慶 弔 費	150,000	40,000	110,000	
旅 費	500,000	142,000	358,000	
旅 費	500,000	142,000	358,000	会議、監査等に おける役員移動費
大学祭補助費	3,000,000	1,000,000	2,000,000	
大学祭補助費	3,000,000	1,000,000	2,000,000	
雑 費	50,000	36,630	13,370	
雑 費	50,000	36,630	13,370	振込手数料等
予 備 費	5,459,218	0	5,459,218	
予 備 費	5,459,218	0	5,459,218	
支 出 小 計	29,459,218	17,996,625	11,462,593	
繰 越 金	0	11,298,705	△ 11,298,705	
次年度繰越金	0	11,298,705	△ 11,298,705	
支 出 合 計	29,459,218	29,295,330	163,888	

[積立金会計]

(単位 円)

名 称	前年度残高	今年度積立金	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立80周年記念積立金	300,000	300,006	0	600,006	

令和4年度 後援会 事業計画

月	主 要 行 事	就 職 活 動 支 援	ク ラ ブ 活 動 支 援
4	後援会会報第64号発行 (4/20)	GPS アカデミック 自己分析テスト(4/4～7) 就職ガイダンス①「就活準備スタートアップ講座」(4/21) 留学生ガイダンス①「就活スタート講座」(4/28)	海外派遣選手最終記録会(カヌー部) 日本学生陸上競技個人選手権大会(陸上競技部) 全日本競歩輪島大会(陸上競技部)
5	後援会役員会 (5/21) 後援会定期総会 (5/28) 保護者個別懇談会【福井地区】(5/28) TOEIC 学内試験(5/28)	就職ガイダンス②「インターンシップのためのスケジュール・TODO の確認講座」(5/19) プロトコルマナー講座①「印象学・面接で選ばれる人になる講座～就活対策!アナウンサーのテクニック満載～」(5/26) 就活手帳配布予定	全日本学生長距離選手権大会(カヌー部) 東日本大学選手権大会(空手部)
6	就職支援講座【オンライン】(6/25) 保護者個別懇談会【オンライン】(6/25)	就職ガイダンス③「インターンシップのための企業選び&エントリー / 合説後の動き方」(6/2) 就職ガイダンス④「インターンシップのための履歴書・エントリーシートの準備」(6/16) 筆記試験対策講座「WEB模試受験会」(6/9) プロトコルマナー講座②「印象講座・見た目編～好感度を60%上げる方法～」(6/23・30) 合同企業説明会(4年生対象)	全日本大学野球選手権大会(硬式野球部) 全日本学生選手権大会(空手部) 全日本学生柔道優勝大会(柔道部) 全国大学ゴルフ対抗戦(ゴルフ部) 日本女子アマチュアゴルフ選手権(ゴルフ部)
7	TOEIC 学内試験(7/9) 就職支援講座【オンライン】(7/23) 保護者個別懇談会【オンライン】(7/23) 後援会役員会	就職ガイダンス⑤「インターンシップのための身だしなみ・マナー講座」(7/7) プロトコルマナー講座③「印象講座・声と言葉編～90分で好感度が40%上がる～」(7/14・21) 就職ガイダンス⑥「就活準備 前期総まとめ講座」(7/28)	全日本大学王座決定戦(男女ホッケー部) 中部学生選手権水泳競技大会(水泳部) 全日本学生剣道選手権大会(剣道部) 全日本女子学生剣道選手権大会(剣道部) 北陸オープンゴルフトーナメント(ゴルフ部)
8		海外インターンシップ実施予定	全日本学生カヌースプリント選手権大会(カヌー部) 日本学生選手権水泳競技大会(水泳部) 日本学生ゴルフ選手権(ゴルフ部) 日本女子学生ゴルフ選手権(ゴルフ部)
9	大学祭(9/23、24) 前期末学位記授与式(9/28)	キャリアリーダーズキャンプ(9/11～13) 就職ガイダンス⑦「自己分析 Web テストフォローアップガイダンス」(9/29)	全日本カヌースプリント選手権大会(カヌー部) 全日本大学サッカートーナメント総理大臣杯(サッカー部) 全日本ジュニア体重大別選手権大会(柔道部) 日本学生陸上競技対校選手権大会(陸上競技部) 日本オープンゴルフ選手権(ゴルフ部) 日本女子オープンゴルフ選手権(ゴルフ部) 東海クラシック(ゴルフ部)
10	保護者懇談会 学内インフルエンザ予防接種 TOEIC 学内試験(10/29) 後援会会報第65号発行	就職ガイダンス⑧「学園理事長から就活生に向けて」 就職ガイダンス⑨「いよいよ就活本番に向けての動き出し!後期スタートアップ講座」 留学生ガイダンス②「履歴書対策講座」 ※自己分析・履歴書の書き方・面接対策・グループディスカッションは各学科にて実施	全日本学生剣道優勝大会(剣道部) 全日本学生柔道体重大別選手権大会(柔道部) 全日本学生柔道体重大別団体優勝大会(柔道部) 全日本学生馬術大会(馬術部) 全日本吹奏楽コンクール(吹奏楽部) 日本グランプリシリーズ新潟大会(陸上競技部) 日本陸上競技選手権大会リレー競技(陸上競技部) 全日本35km 競歩高島大会(陸上競技部) 常陸宮杯争奪日本学生ゴルフ選手権(ゴルフ部) 常陸宮妃杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権(ゴルフ部)
11	就職セミナー 学食利用促進(仮称)	就職ガイダンス⑩「業界・企業研究講座」(11/10)	全日本学生選手権大会(男女ホッケー部) 全日本選手権大会(男女ホッケー部) 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会(バレーボール部) 明治神宮野球大会(硬式野球部) 全日本女子学生剣道優勝大会(剣道部) 全日本大学選手権大会(空手部) 全日本学生馬術選手権大会(馬術部) 全日本学生馬術女子選手権大会(馬術部) 文部科学大臣杯争奪大学・高校ゴルフ対抗戦(ゴルフ部)
12	TOEIC 学内試験(12/10)	就職ガイダンス⑪「合同説明会の参加の仕方」(12/1) 就職ガイダンス⑫「就活本番に向けた面接対策講座(WEB 対策含む)」(12/8) 学内企業合同研究会	全日本大学サッカーインデペンデンスリーグ(サッカー部) 全日本大学サッカー新人戦(サッカー部)
1		就職ガイダンス⑬「いよいよ就活解禁直前!総まとめ講座」(1/13) 証明写真撮影会(1/12・19) 2年生対象 就職ガイダンス 「就活直前講座」(1/26)	全日本大学サッカーインデペンデンスリーグ(サッカー部) 全日本大学サッカー新人戦(サッカー部)
2		プロトコルマナー講座⑤「ドリームライフコーチング講座～人生の羅針盤セルフコーチングの基礎を学ぶ～」(2/2)	日本陸上競技選手権大会室内競技(陸上競技部) 日本陸上競技選手権大会20km 競歩(陸上競技部)
3	学位記授与式(3/15) 海外語学研修(アメリカ)	都市圏就職活動セミナー(名古屋・大阪)	海外派遣選手最終選考会(カヌー部) 全日本アンサンブルコンテスト(吹奏楽部) 中部日本個人・重奏コンテスト本大会(吹奏楽部)

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更・延期・中止となることがございます。

無人島で 生命の痕跡を探る

サマセット島における学術的冒険の記録～

環境情報学部
環境食品応用化学科・教授
柏山 祐一郎

いったい何を疑うというのだとも思われるが、実はこの記録は二つの問題を抱えている。ひとつは、その生きた時代である。つまり、この10億年前という時代の推定が、サマセット島の地層そのものの分析によるものではなく、あくまで遠く離れた別な島との推定対比に基づいているというあやふやさがあるという点だ。もうひとつは、どんなに保存がよくとも、バンジオモルファは顕微鏡を使って初めて捉えることの可能な微細な生物の化石であり、現在生きている生物の対比だけに頼って分類学的な詳細を理解するのは容易ではないという点だ。その正確な同定には、少なくとも細胞スケールの詳細情報が必要である。それでも、当時の研究では例外的に細胞の並びの詳しいところまでが見て取れるような、素晴らしい観察であったことは確かである。ただ、当時の薄片観察だけに頼った手法では、その全てを捉えきるには不十分であった可能性もある。何より、10億年前の生物（だったとして）を現在生き残っている生物の仲間であるという前提で対比するアプローチには問題もある。であれば、2022年現在の最新のテクノロジーを駆使して、この化石記録を再調査しよう、というわけである。そのためには、何よりその場所、その地層にもう一度アクセスする必要があったのだ。

大地に潜む太古の記憶

サマセット島の夏は、雪原ではなく瓦礫の荒原だ。そもそも、北極圏の中でもこの緯度帯は比較的乾燥しており、冬の降雪量も多くは無い。それでも、以前は夏でももっと多くの雪に被われていたらしい。実際、20世紀中葉の最初期の調査では氷に被われて発見できなかった地層の境界が、後の調査で見つかるようになったなど、この島でも、北極圏の他の地域に変わらず、少しずつ温暖化の波に吞まれようとしているのだろうか。少し内陸に入ったこの一帯の調査に、イヌイトの二人のハンターに同行をお願いしたのも、実際、温暖化が関係している。夏に海水が完全に解けるようになってしまった昨今、氷上の狩り場が奪われたホッキョクグマが、餌を探して内陸に入ってくることが多くなったのだ。もっとも、幸いにもこの調査期間中には獣の気配は無かった。

ベースキャンプから礫原を歩くこと片道三時間あまり、たどり着いた小川の右岸の丘の裾のどこかに、バンジオモルファの化石が眠る地層があるはずだ。ここもあらかた瓦礫に被われてはいたが、露頭らしきものもいくつかあった。私たちはまず、川のほとりまで下って、振り返って丘の表面を眺め、これから「探す」対象となる地層の露出を探した。丘の少し上では、二人のハンターが銃を手に周囲を警戒してくれている。

そして、ここから手分けして、バンジオモルファの化石を産する露頭を探すことになるのだが、つまり、この時点では、私たちは目指すべき「正確な」目的地を、分らないままだったのだ。2000年の論文で縮尺の小さな地図におおよその場所が記されて以降、誰一人として現場検証した者もないままに今日に至ったためだ。しかも、論文の記述はこの化石の密集が特定の層に限定されることを示唆していた。つまり、ピンポイントで35年前と同じ露頭を見つけられない場合、化石の探索は困難を極めることになるのだ。

私たちは、それぞれ、論文に記述された岩石表面の様子（地質学では「岩相」という）の記述を頭に描きながら、目的の露頭を探していった。まずは少し離れた場所から露頭の全体を把握して、次に露頭の表面に取り付いて、層の重なりを確かめる。そこに、化石が期待されるチャートらしき層を見つけると、露頭に頭をこすりつけるようにルーペを使い、あるいは岩石ハンマーで叩いて破片を手にとって、日光を利用して高倍のルーペで詳しく観察し、怪しそうな場合にはそれをさらに50倍のペンスコープに持ち替えて、あるはずの化石を見出そうと頑張っていた。論文によれば、バンジオモルファは比較的大型の細胞の連なりから成っており、そのフィラメントの直径は20マイクロメートルほどもあるので、ペンスコープなら十分認識できるはずなのだ。一度別な露頭も見えてみよう、50メートルばかり離れた

別な場所を探してみる。ここも似たような岩相をしており、ドロマイトの重なりの中に、ところどころチャートが帯状に散在する層が入ってくる。もっとも、これはハンティング層の典型的な岩相なので、似通っているのは当たり前なのだが、それが化石層の特徴を薄めて、探索を困難にさせていた。

いつの間にか南にあった太陽が、徐々に西側に回ってきている。不安になってきた。アクセスすら困難だと考えていたサマセット島にまでたどり着いて、一体、化石を見つけられないなどということがあるだろうか。臥薪嘗胆ようやく討ち入ってはみたものの上野介をなかなか見つけられない赤穂浪士の気持ちが、少し分かったような気がした。別な場所を探していたメンバーに声をかける。やはりめばしいものは無いらしい。論文の記述にかなり似た岩相は散見されたものの、肝心の化石のフィラメントが見えない。もしかして場所がずれているのだろうか。

いよいよ追い詰められてきたが、もう一箇所だけ、気になる場所があった。最初の場所から北の方角、小川の下流側を眺めると、もう一つだけ、大きめの露頭が鎮座している。地図から推定される地点からは離れるが、地形図に附された「ハンティング川の二次支流の頭」という文言を大雑把に捉えれば、確かにこの場所が「頭」に近いようにも解釈できるかもしれない。最後の望みとなったその露頭は、地層の上下方向に大きく剥き出し、何段かに分かれていた。その中断あたりで、露頭から崩れ落ちた大きな岩の塊の割れた面に露出した、黒曜石のように暗く透けるチャートの中に、暗褐色の糸くずのようなものが一筋だけ、あった、いや、あるように思えた。すぐに一番観察眼の良い若いメンバーが呼ばれて、詳しく観察することになった。特徴的な細胞の連なりのくびれも観察できる。サイズのにも合致する。ついにバンジオモルファを見つけた。

一日の終わり、夕日を背に今朝超えてきた丘を再び登って、東側のハンティング川の谷へ戻っていく。否、この日はずっと沈まないのだから、夕日と呼べるのだろうか。私たちの太古の生命への冒険も、まだ始まったばかりだった。イヌイトのハンターが抱えていた石積み脇の脇を、やや疲れた足取りで通っていった。これはイヌクシュクと呼ばれる、イヌイトの人たちが作る伝統的な「道標」だ。氷床の下で平らに削られた北極圏の大地には明確なランドマークに乏しく、人々はイヌクシュクを使って互いに場所を伝え、あるいは記録したという。その後私たちは、毎日、このイヌクシュクを目指して丘を越えた。

そして調査も半ばに差し掛かる頃、ついに、礫に覆われていた露頭を幸運にも発見し、そこに大量の化石を含む層を見出すことができた。そしてこの露頭には、化石層の上下に年代決定に利用できるかもしれない火山性の白く薄い層が縞状に多く含まれていることも分かった。調査最終日は、分析のため持ち帰る岩石試料の採取とベースキャンプへの輸送で、夜中まで調査を続け（白夜なので可能）、翌朝迎えに現れたツイン・オッターには100kgを超えることとなった研究試料を載せてレザリユート・ベイに戻った。



極北の 原初の ～カナダ北極圏～



生命の歴史を辿る旅へ

私たち生命はどこから来たのか？

この問いの探求こそ、人類の究極の知的冒険だといえる。これほどに人々を惹きつけ、また、これほどに曖昧で、いまだ科学的に明確な答えが得られていない問いも無い。この人々の根源的な疑問に対して、科学はさまざま命題を設定する。例えば、ある科学者たちは細胞の始まり、つまり我々と同じ仕組みで自己を複製して子孫を残すようになった存在の証拠として太古の地層中に化石を探す。ある科学者たちは、生命が残したであろう有機分子を地層中から検出しようとし、あるいは生命活動の結果環境に生じた化学的なフィンガープリントを見出そうとする。またある科学者たちは、地球生命に特徴的なアミノ酸や核酸などの「材料」分子の起源を雷の作用に見出そうとし、あるいは宇宙空間に求める。その知的欲求の深淵さたるや、膨大な国家予算を投じて人工衛星を飛ばして彗星や小惑星を探り、あるいは月や火星に探査機を送り込むまでなのだ。しかし、人類がこれまでに得ることができた情報はわずかな「点」の散らばりでしかなく、これらを線で結んで面を描いて生命の晩の歴史を理解するには、いまだ、人間の優れた妄想力を駆使してなお、遠く及ばない。

私たちはいつから存在しているのか？

ここでは、「私たち」をどう設定するかが問題であるが、これはすなわち、霞のはるか向こうの生命の始まりから地球環境を改変してしまう存在にまでなった我々人類に至るまでの、長い進化の道のりの、どのあたりにアイデンティティーを見出すかという問題である。そして、私たちが私たちと思える存在になった歴史の始まりを探る問いである。もちろん、いつ、ホモ・サピエンスが誕生したのか、いつ類人猿が登場したのか、哺乳類、脊椎動物、あるいは動物の歴史がいつどのような形で始まったのか。しかし、生物学上で決定的に重要な問題は、細胞の始まりと、真核細胞の始まりであろう。前者は、地球生命の基本が細胞という単位である以上、生命の起源を問うているのに限りなく近く、細胞以前を定義できないので、始まりの時間を科学的に論じるのは容易ではない（地球化学的な証拠から考察できる「生命活動の始まり」の議論よりずっと難しい）。一方、後者はより明確である。細菌や古細菌のような単純な形態の「原核細胞」しか存在しなかった世界から、「我々」の細胞のような複雑な内部構造を持つ「真核細胞」が共存する時代がいつ始まったのか、という問題であるため、その時代境界を特定できればよいのである。



コロナ禍の終息がまだ見通せない2022年の夏の初め、私たちはカナダ北極圏のある島の、広い、真っ平な河原の縁に降り立った。研究者4人と、ライフルを担いだ2人の精悍なイヌイット。彼らをこの島まで運んだDHC-6 ツイン・オッターは、河原の周りを入念に周回した後、視界の中の唯一の人工物である朽ちたドラム缶の先の原野に、スッと着陸した。パイロットは、しばらくあたりを歩き回ると、おもむろに屈んで首を横にしてドラム缶の方角を指すと「ここに古い着陸痕がある」と告げた。

35年前の1987年の夏、この島を訪れた地質調査隊のメンバーは、とある地層のかげらを持ち帰った。その普通なら誰も気に留めないであろう何とも無さそうな岩石片には、ルーペで覗くと奇妙な繊維状の構造が認められたのだ。1991年、極北のサマセット島から見つかったこの規則的に繋がった細胞のような構造が、最古の真核細胞の化石であるとの報告記事が、科学界で最も権威のある雑誌 Nature に掲載された。2000年には、正式な化石生物の記載論文が公表され、そこでバンジオモルファ・パベセンスと名付けられたこの化石は、10億年を超える時間を地中深くの岩石の中で過ぎてきたにもかかわらず、つい最近まで生きていたかのような圧倒

的な保存の良さから、確実な世界最古の真核細胞の記録であると、現在に至るまで広く受け入れられてきた。私たちの目的は、それだった。それを再び見つけ出すこと。

九州と四国のちょうど中間ぐらいの大きさのサマセット島には、誰一人として定住者はいない。特に、比較的最近まで氷床に覆われ、ほとんど土壌がない（つまり凍土すらない）島の北側は不毛の大地で、動物すらまばら、このアストン湾の南岸地域にはイヌイットのハンターたちすらほとんど訪れることもないらしい（実際今回の滞在期間に生きた四つ足の動物に遭遇することはなかった）。まだ地表の多くが夏でも氷で覆われていた20世紀の中葉に、地質調査隊が何度かこの場所を訪れたが、35年前の調査を最後に、だれも立ち入った様子も無いという。アストン湾にそそぐハンティング川の河川敷に残された飛行機の着陸痕とドラム缶は、おそらく35年前のそれであろうと思われた。我々の「始まり」を仄めかす世界最古の真核細胞が暮らした10億年前の楽園は、こうして35年の間誰も訪れることはなく、再び長い地球の歴史の闇に埋もれていってしまうかの様だった。



この冒険は、バンジオモルファの化石記録を疑うところから始まった。実際、現生の生物を研究する研究者の間では、紅藻の仲間だと分類されたこの化石記録に強い疑念が相次いでいた。21世紀に入ると、多様な系統の真核細胞から取り出されたDNAの情報が網羅的に解析できるようになり、膨大な遺伝子データが集められるようになった。生命の遺伝情報を「記述」したDNAの塩基配列は、進化の長い時間の中で、ある一定の確率で変化していく（いわゆる突然変異の原因）。この積み重ねが生物を少しずつ異なる在り様に変化させ、多様な生命を生み出してきた。そこでこのプロセスを逆に取り、様々な生物のDNAの配列情報を統計的に解析することで、これら生物が、いつ、どのように分かれて進化してきたのかを明らかにする研究、つまり系統樹（いわゆる「生命の樹」）を描くことができるようになった。これは「分子時計」と呼ばれる研究手法だ。ただし、相対的な年代を復元する分子時計に実際の時間の情報（絶対年代）を刻むには、必ず化石記録を用いた「キャリブレーション」が必要である。なぜなら、いつ、どのような生物が存在していたのかを地質年代と照らし合わせることができるものは、地層から見つかる化石しかないのである。したがって、「最古の真核生物」である10億年前だとされるバンジオモルファの記載は、必然的に、最重要のキャリブレーションポイントなのだ。

ところが、古すぎるのである。バンジオモルファが2000年の論文に記載されたとおりの多細胞体制を実現した紅藻の仲間であり、それが10億年前に本当に存在していたとして分子時計を計算すると、ほとんど全ての生物の系統が、これまで化石記録や過去の地球環境の復元記録などから想定されてきた時代よりも、ずっと古い時代に登場してしまっていたことになるのだ。どうしてそうなのか、その背景として二つのことが考えられる。ひとつは、化石記録や地質記録の不完全性だ。私たちは、化石をもとにして復元された恐竜が生きた中生代の風景や、三葉虫が這いまわった古生代の風景について「知っている」が、実はその多くの部分は想像（科学的に「最もそれらしい」推測）によって埋め合わされている。なぜなら、生物は死ねば朽ち果てて、一般に化石として岩石からその姿が抽出されるに至ることは極めてまれな事象であり、したがって過去の生物種のほとんどの形や存在を認識することは、原理的に困難なためだ。ましてや、硬い組織を持たなかった初期の真核細胞が、地層中から見いだされることは確率論的に極めて低い。したがって、実際に、我々のような真核細胞を持つ生命は、これまでの認識より古い時代に多様化していた、というのがひとつの解釈となる。

もうひとつの考慮すべき背景は、バンジオモルファの化石記録そのものに問題がある可能性だ。こう言うと、「圧倒的に保存の良い」化石記録の



グループ発表の様子

参加学生は各大学の混成メンバーとして8班に分かれ、それぞれが話し合いで調査テーマを設定、町家通りを中心に宮島内を調査した。空き家の把握はもちろん、建物の使用用途の分析から、住人や観光客へのインタビュー、宮島の活動スケジュール等々、さまざまなフィールドワークが行われ、自分の目で、足で調べた情報を下敷きに、宮島という地域の課題や問題を炙り出し、解決方法について具体的な提案を統計や図面、写真でわかりやすく提案することに積極的に取り組んでいたと感じる。見知らぬ若者同士が自己紹介も早々に、議論や調査を共に

工大サミット参加9大学（愛知工業大学、大阪工業大学、神奈川工業大学、芝浦工業大学、東北工業大学、広島工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学、本学）の学生五十数名が集まっの地域課題解決実習（CB）が、八月十九日・二十日、九月九日・十日の二回に渡り、広島県は宮島のかつての表参道、町家通りを舞台に開講された。広島工業大学の開講授業科目「地域課題解決実習」の受講者と、工大サミット8大学の参加学生との混成メンバーによるグループワークである。本学から工学部建築土木工学科一年石田悠翔君、同学科三年中村俊介君、環境情報学部デザイン学科三年谷島諒君、同学科三年吉岡功記君、計四名の学生が参加した。

現在の表参道が、土産物屋が立ち並ぶ観光道路であるのに対して、町家通りは、古くからの街並みであり島民の生活を担う側面が大きい。しかしながら近年、空家や空き地が目立つようになったとのことである。本実習の目的としては、宮島を取り巻く観光や歴史、防災、地域活性化などの課題に対して、広島工業大学と地元自治体の廿日市市が取り組んでいる「宮島町家の保存と活用」をテーマとした解決策の提案であった。八月の「課題発見編」、九月の「課題解決編」の二回に分けて、それぞれ一日目が宮島、二日目が広島工業大学で行われた。

工大サミット

Institute of Technology Summit

（広島工業大学での地域課題解決実習 参加報告）



ワークショップの様子



参加者集合写真

して、プレゼンシートを作成し発表するフィニッシュまで至る体験は、日ごろの授業とは違う得難いものだと考える。

九月の「課題解決編」での最終発表では、二回目ということもあり各班の混成メンバーもコミュニケーションセッションが増え、八月の発表に比べて街歩きによる気付きの具体化や分析、インタビューによる裏付けも増し、各班とも取り組むべき課題の問題点の明確化、解決提案のための具体化、また画像や資料、図面作成まで至る発表内容の充実が見られた。タイトルだけの紹介となるが、「季節限定の朝や夜の店舗営業の提案」、「宮島らしさが持続可能な住みやすい町」、「また訪れたい、と思える町家」、「宮島に居尽くすための提案」、「宮島への移住者用マップ作成」、「学生がつなぐ地域の拠点」等、様々な提案が行われた。

本学から参加した学生のレポートや感想からは、今後の学びのための有意義な経験となったことがみとれる。

（引率教員 清水俊貴／建築土木工学科准教授、丸山晴之／デザイン学科准教授）



宮島の町をバックに



新学部設置 (令和5年4月～)

経営情報学部



教授／馬場口 登
(現・環境情報学部経営情報学科主任教授)

令和五年四月に、福井工業大学の四番目の学部として、「経営情報学部」が誕生します。経営情報学部は、現在の環境情報学部経営情報学科を拡充して設置されるものです。後援会の皆様はご存知かもしれませんが、経営情報学科の起源は、昭和六十二年に八十名定員で新設された経営工学科に遡ります。その後、本学科は順調に発展を続け、令和三年から九十名の学生を迎える体制となり、来年学部昇格します。

さて、ICT技術、数理データ科学技術、AI技術は、現代のスマート情報社会の基盤を形成するものとなりました。さらにこれらの応用領域は、いわゆる文系理系の垣根を飛び越えるものとなりつつあります。様々なデジタル化、及びデジタルライゼーション化を伴うDX (Digital Transformation) は最優先の社会課題となっており、多様な分野でDXに携わる人材を育成することが、大学の大きな使命となっております。

経営情報学部はこの社会的要請に呼応するものであり、三十五年に及ぶ本学科の教育研究実績を踏まえ、文理横断型の教育を通じて、社会性を備えたデータサイエンティストの育成を目指しています。一年次で本学部で基礎となる科目を学修し、二年次で以下に示すデータサイエンスコースと経営システムコースに分かれて各々の専門性を深化させていきます。そして四年次で理系大学では必須の卒業研究を通して論文を執筆する能力を養います。さらに、地域企業や地場産業と連携して課題を解決する実践型プロジェクト教育を活用して、地域DXにかかわる人材育成を推進します。

令和六年、福井市に北陸新幹線が開通し、新たなエポックが始まります。福井工業大学ではその一年前から経営情報学部が新たなエポックを刻み始めます。後援会の皆様の多大なるご支援をお願い申し上げます。

経営システムコース

企業や行政の現場においてデータに基づく経営判断や政策形成が強く求められるようになっていきます。マーケティングやファイナンス、ロジスティクス、経済学、政策科学などの科目に加えて、統計学やオペレーションズ・リサーチ、多変量解析などデータ解析に関する科目を多数配置します。的確な分析力と豊かな発想力で地域社会を支える人材を育成します。

データサイエンスコース

画像認識や人の言葉を理解するAI、社会の課題解決、地域産業活性化のためのIoTシステム、ICTを活用するためのプログラミング教育、日常生活の利便性を向上させるアプリケーションソフトの開発、さらにはAI、データ利用、情報技術をめぐる倫理教育など、特色ある学びを展開します。データサイエンスで時代をリードする人材を育成します。

〈保護者の皆様へ〉

令和5年4月から学部・学科名称が変更となりますが、それ以前に入学した在学生については、現在在籍する学部・学科の名称、教育内容について変更ありません。

あまみず飲料化プロジェクト 2022 for SDGs



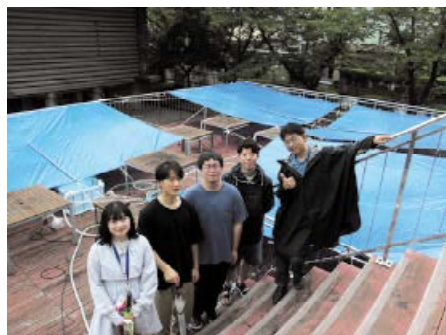
環境情報学部 環境食品応用化学科
教授 笠井 利 浩

近年、地球温暖化による気候変動の顕著化により豪雨被害が増え、一方、今後は干ばつによる渇水被害も懸念されています。さらに日本国内では、巨大地震等の被災時におけるオンサイト（消費場所）での生活用水確保の必要性が高まっています。これらの解決策として雨を貯留して活用する「雨水活用」が挙げられますが、法整備や技術開発が進んではいないものの社会での普及は進んでいないのが現状です。

本プロジェクトは、雨本来の水質や水資源としての可能性を体感（飲用）して多くの方々に理解頂き、また社会活動を支える全ての淡水資源の源は「あまみず」であることを広く再認識して頂くことを目的に始動しました。今世界中で取り組まれている SDGs 目標とも深く関連する本活動には多くの方々の参加が欠かせないため、今年度は企業、団体からの協賛を募って実施いたしました。参加企業は16社、福井市や坂井市からも後援頂きました。

【経過】2022年4月、環境食品応用化学科 笠井研究室（笠井利浩、同科学生5名）が中心に、デザイン面からデザイン学科 近藤晶先生、参加者の意識変容評価をデザイン学科 三寺潤先生の協力を得てスタートしました。その後、協賛企業・団体の募集や原料となる雨水集水・浄化装置の開発などを行い、7/14に雨の集水・浄化を行いました。集めた雨水はビニールタンク120個（約2900L）となり、これを福井の地元飲料メーカー（北陸ローヤルボトリング協業組合）に搬入して、あまみずサイダーなど計7200本を製造し、その話題性から新聞、テレビ、ラジオなど多くのメディアで取り上げられました。

雨水を原料とした飲料ボトルは国内では他にはなく、また世界でも数件しか存在しません。本活動が笠井研究室が目指す「雨を貯めて活かす事が普通の社会」の実現に繋がることを願います。



雨集水時の様子



あまみずドリンク完成



3種類のあまみずドリンク

Facebook

あまみず飲料化プロジェクト2022 for SDGs
<https://www.facebook.com/amedrink>

NHK NEWS WEB ビジネス特集

美味しい！ 雨水の無限の可能性を探る

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220906/k10013803471000.html>



ラジャマンガラ工科大学表敬訪問(チェンマイ)



アネック大臣表敬訪問(タイ・バンコク)

こよりプロジェクト

コロナ禍の中でプロジェクトが制限される中、環境情報学部デザイン学科では昨年度よりオンラインによるタイ王国との交流活動を積極的に行ってきた。その中でも北部チェンマイ市にあるラジャマンガラ工科大学ランナー校、およびランナー文化工芸協会との共同プロジェクトである「こよりプロジェクト」にはデザイン学科から毎年10名の学生(10チーム)が参加し、本年度は実際に学生達が現地を訪れ、現地調査やワークショップなどのフィールドトリップを行いました。

「こよりプロジェクト」とは、タイ王国政府による「村一品」活動の一環で、ランナー地方で現地のクラフトマン(工芸家)とタイと日本のデザイナー(学生)、コンサルタント(教員)が1つのチームとなり、現地での持続可能な新しいコンセプトとデザインによる工芸製品を開発するタイ政府資金でのプロジェクトです。昨年度は制作した製品が国際コンペティションにてゴールドメダル(最高賞)を受賞するなど非常に大きな成果を出しました。それらの成果を高く評価され、今年5月12日にタイ王国政府からアネック・ラオタマタット高等教育・科学・研究・イノベーション大臣以下28名が、連携協定締結(MOU調印)や基調講演などを行うため福井工業大学を表敬訪問されました。また当日は、ゴールドメダルを受賞した国際コンペティション(2021年 Hong Kong International Invention and Design

Competition)の賞状とメダルがアネック大臣より受賞した学生と教員に直接授与されました。

本年度の「こよりプロジェクト2022」は4月からスタートし、6月12日から20日にかけて学生と引率教員合わせて11名が首都バンコクや北部チェンマイ市を訪れ、アネック大臣や日本総領事館、提携校であるラジャマンガラ工科大学ランナー校やラジャバット大学などを表敬訪問しました。またフィールドトリップとしてチェンマイ、チェンライ、メーホンソーン、パヤオ、ランブリン、ランパーンの各市でクラフトマンの工房や工場を訪ねての現地調査を行いました。学生達はオンラインでは決して得る事の出来ない現地での様々な情報や交流体験を日本に持ち帰り、帰国後は引き続きオンラインでのミーティングやディスカッションを経て、チームワークによって10つの新しい製品デザインを完成させました。7月14日から17日にチェンマイのCentral Chiangmaiにて行われたエキシビションにて、学生達はオンライン参加で完成した製品デザインのプレゼンテーションを行いました。大盛況のもとエキシビションは閉幕し、無事、本年度のこよりプロジェクトは終了しました。

「こよりプロジェクト」ではタイ側からの要請により、今後は学生・院生(卒業生も含む)の毎年2名までのランナー文化工芸協会への1年間研修留学も予定しています。



ラチャバット大学表敬訪問(ランバン)

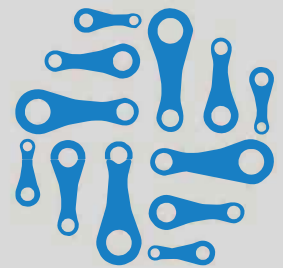


日本総領事館表敬訪問(タイ・チェンマイ)



AI&IoTセンター

FUT AI & IoT Center



センター設立の背景

Background

近年、少子高齢化と東京圏への一極集中が加速しており、福井県では県内推計人口が平成12年の約83万人をピークに減り続け、平成31年4月現在、77万人を下回りました。特に十代後半からの若者が東京圏に一極集中することにより、地方においては安心安全な社会の仕組みの維持が大きく影響を受けると言われています。

安心安全な社会を維持するための方策として、第5期科学技術基本計画（平成28年～令和2年）において、世界に先駆けた超スマート社会（Society5.0）の実現が掲げられました。

センター設立の目的

Goal

第5期科学技術基本計画（Society5.0）の地域への貢献

— AI&IoTによる未来の産業創造と社会改革に向けた新たな価値の創造 —

センターのミッション

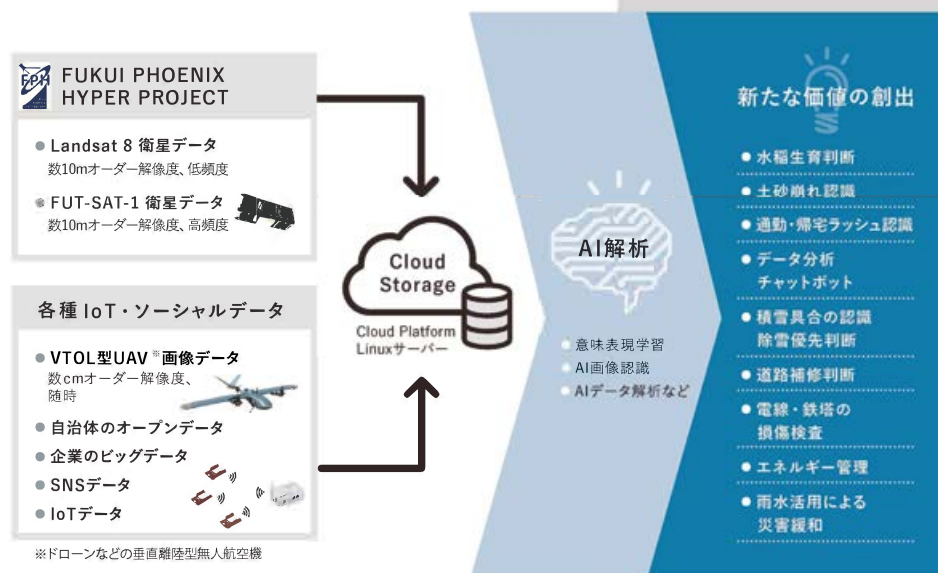
Mission

- 1 ふくいPHOENIXプロジェクトのAI&IoTに関する展開**
 - 衛星、UAVを用いた農産物の生産管理等支援
- 2 地域の活性化と産業創造に関わるAI&IoTの支援**
 - 本学オンリーワンのシーズ・サービスの地域への展開
- 3 AI & IoTのリカレント教育推進**
 - AI&IoTで何ができるのか？
 - 実際のデータ分析

センターのビジョン

Vision

衛星データとIoT・ソーシャルデータの掛け合わせとAI解析による新たな価値創出



ウェルネス&スポーツサイエンスセンター

FUT Wellness & Sports Science Center

センター設立の背景

Background

本学では、子供から高齢者までのライフステージに応じた健康増進の研究や、スポーツにおける競技力や参加率の向上に関わる研究が行われてきました。また2021年度より従来の中学・高等学校、大学に加え、専門学校が本学園に加わったことで、社会が求める即戦力人材の育成がより強化されました。

今後、「ウェルネス & スポーツサイエンスセンター」による産官学医の連携を加速させ、さらなる研究の活性化と、社会に実装可能な提案や開発を行うことで、地域の発展に貢献していきます。

センターの目的

Goal

センターのミッション

Mission

時代に応じた健康増進や スポーツ活動の研究・支援

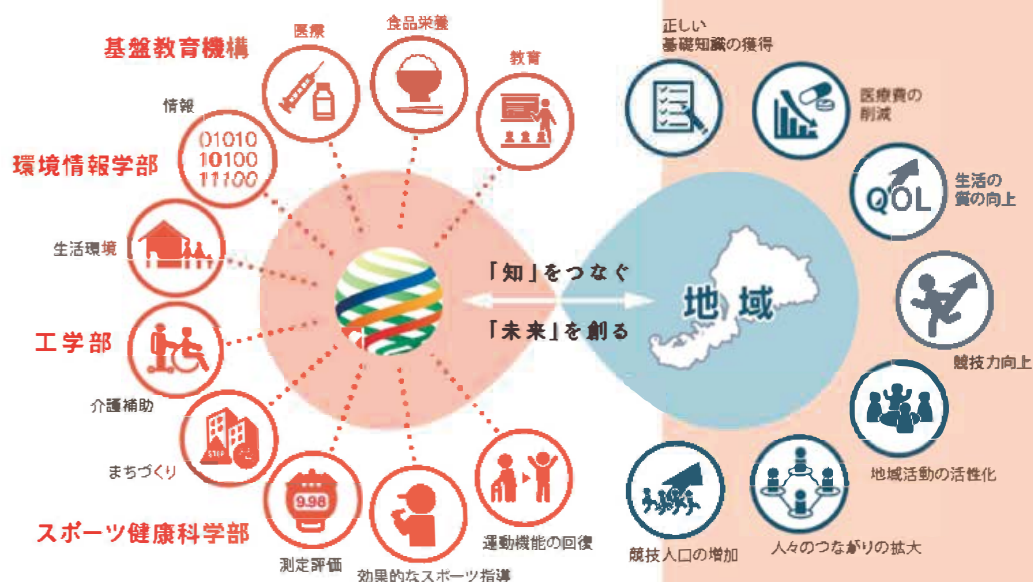
感染症拡大による新しい生活様式や超高齢社会といった変わりゆく状況の中、人々の健康増進やスポーツ活動を時代に応じた形で研究・支援することを目的としています。

- 1 地域の人々との協同事業の窓口としての役割を果たす。
- 2 人々のQOLを高めるための有益な情報の発信拠点となる。
- 3 地域の人々との対話を通して、高度な教育研究の成果を社会実装する。
- 4 未来をつくる観察眼を持った学生・生徒を養成・育成する。
- 5 福井で活躍するアスリートにスポーツ科学的手法により支援する。

センターのビジョン

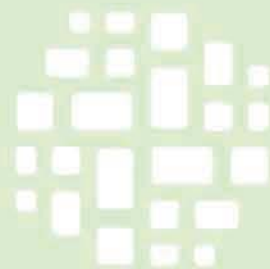
Vision

本学が持つリソースを最大限に活用し、心身の健康増進やスポーツ科学の発展に関する取り組みを行い、人々のQOLやスポーツ活動を豊かにするための先駆的役割を果たします。また、取り組みを通して未来を担う人材の養成・育成を行うとともに、得られた有益な情報を積極的に発信し、地域社会の発展に貢献していきます。



まちづくりデザインセンター

FUT Community Design Center



センター設立の背景

Background

日本では、人口減少や少子高齢化、新たなウィルスによる経済の停滞など社会環境が著しく変化しています。政府の「SDGsアクションプラン2022」では、社会課題に直面した地方でのDXやグリーン分野の成長を含めた科学技術イノベーションを活用するとともに、地域の個性を活かしながら活性化し、持続可能な経済社会の実現に取り組むとしています。

福井県をはじめとする北陸地域は、伝統工芸や地場産業を基礎とする良質な産業が集積しており、これら「ものづくり×デザイン」による「感動につながる価値づくり」が「福井県SDGs未来都市計画」に挙げられています。地域の未来構想において、デザインに対する期待は今後ますます高まると考えられ、これに応える組織が急務となっています。

センターの目的

Goal

「ヒト」づくりを通じた「モノ」・「コト」デザインでまちの未来に貢献

ー 多様な領域からまちづくりとデザインで人を育み新たな価値を創造 ー

センターのミッション

Mission

1 自治体等との連携による まちづくり・プロジェクトの実践

- 都市デザインプロジェクト、防災まちづくり、環境まちづくり

2 社会に還元する デザイン教育の実践 および人材育成

- 集落再生を目指したデザインキャンプ
- 伝統工芸や地場産業を継承するデザイン教育の実践・人材育成

3 F's Design Studioの デザイン活動

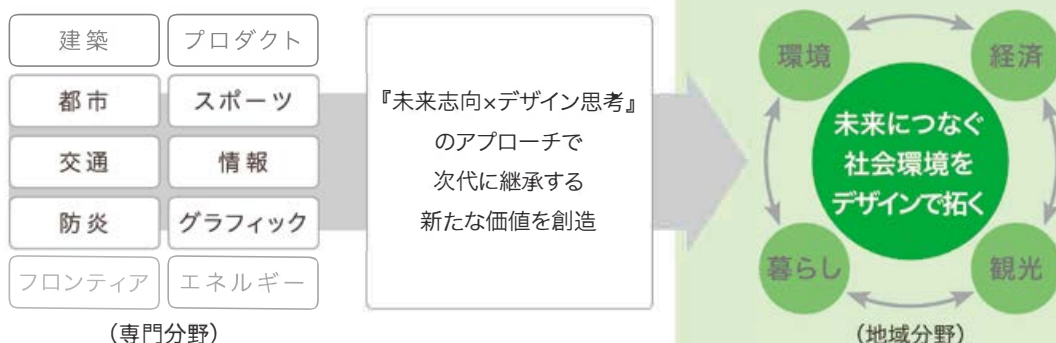
- 新素材を用いたデザイン開発
- 暮らしを豊かにするパブリックデザイン

※ 緑色は一例となります

センターのビジョン

Vision

「未来につながる社会環境をデザインで拓く」をビジョンとして、地域のステークホルダーと新たな関係性を築くとともに、文理交錯による多様な専門領域を連携させることで、新たな視点を通じたアイデアの創出と、それらを活かした「モノ」、「コト」のデザイン活動と未来の地域を拓く「ヒト」の育成を実践していきます。これらの活動を通じ、より良い社会環境を次代に継承し、イノベーションを起こす地域デザインの先駆的な役割を果たしていきます。





令和四年五月二十三日吉本興業株式会社様と本学園は、包括連携協定を締結いたしました。
包括連携協定を通して、吉本興業株式会社様の「あなたの街に住みますプロジェクト」のノウハウを活かし、本学園の教育機関の魅力向上に向けたPR活動を実施し、優秀な人材育成・輩出につなげ、それを通じて地域創生に取り組んでまいります。

「つるつるいっぱい」とは？

北陸地方の方言で「溢れるほどいっぱい」という意味。

「Co-Create(共創)」をコンセプトに、
「学校法人金井学園」と芸人が、
福井県において「地域創生」「SDGs」「教育」「産学連携」などを
テーマに新しいことを
一緒に学び、発信していくプロジェクト…それが、
「つるつるいっぱい学園」！

様々なことに“つるつるいっぱい”チャレンジしていきます！！



「地域創生」を
テーマに毎週放送！



毎日、各地域から様々な映像を集めて
ローカルのニュース・人物を楽しんでいく
13:00~BS よしもとで4時間の生放送中の
「Cheeky's a Go Go !
～行く・見る・味わう・楽しいニッポン～」
のなかで、「地域創生」をテーマに…
毎週金曜日・放送予定！

学生×芸人が
様々な事に
チャレンジ！



「学生」と「芸人」が『共創』をテーマに
様々なことにチャレンジ！

公式の「YouTube」
「公式 SNS / Twitter/Instagram」で
定期的に、アップ・公開していくよ！

夢に向かって!

— With コロナ —

近年、新型コロナウイルス感染症拡大により、人々の生活はもとより、様々な活動が大きな影響を受けてきました。感染拡大の防止のために社会そのものの活動が停滞しかねない状況が依然続く様相を見せていますが、人類はワクチンを開発し、ある程度の効果を得るとともにこのウィルスの特性を把握し、コロナと共存しうる方法を手に入れつつあるように思われます。即ち「With コロナ」!

キャリアセンターでは、学生の皆さんの就職活動支援をコロナ禍でも消極的になることなく、様々なできる限りの方法で対応し、皆さんの就職活動がコロナウイルス感染症による影響が及ばないよう配慮して参ります。例えば、皆

さんとのonline面談や企業様のご来学説明会等のonline方式への切り替えなどです。これまでコロナ禍において様々な制約が生じましたが、就職内定状況などでは、コロナウイルスが完全収束でない状況下においても、コロナ以前(2019年頃)の就職内定状況にほぼ復帰しつつあります。次頁には、キャリアセンターの就職支援のための行事計画が記載されています。コロナウイルスの感染状況に応じた最善策をとりながら学生の皆さんの夢の実現をサポートして参ります。安心してセンターを訪ねて来られることを期待しております。

「With コロナ」で頑張りましょう!

キャリアセンター長 島田 茂



就職ガイダンス(対面・オンライン同時開催)



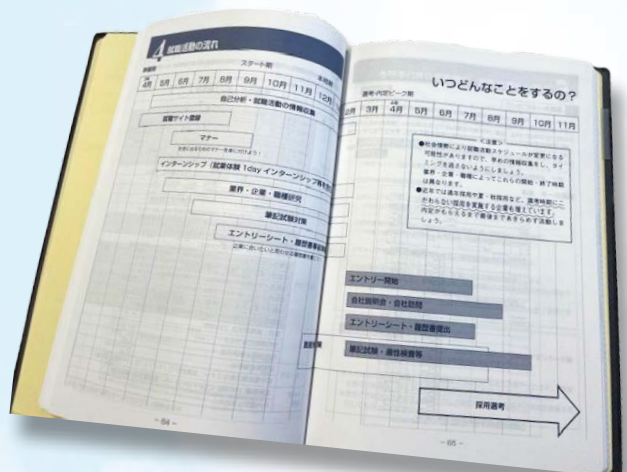
インターンシップキックオフ(合同企業説明会)



海外インターンシップ(タイ王国 8/18-9/6)



就活手帳(後援会からのご援助により、学部3年生に配布)



就活手帳

2022年度 進路・就職支援行事計画

前 期	
月 日	行 事
3月28日(月)～3月31日(木)	前期受講登録ガイダンス(3年…就職登録票配布)
4月下旬～5月中旬	特別講座開講説明会(全学年対象)・基本情報技術者・宅地建物取引士・公務員試験講座ガイダンス
4月21日(木)	就職ガイダンス① 「就活準備スタートアップ講座(サイト登録)」 対面開催 金井講堂
4月28日(木)	*留学生ガイダンス 1 「就活スタート講座」
5月19日(木)	就職ガイダンス② 「インターンシップのためのスケジュール・TODOの確認講座」(就活手帳配布)対面開催+YouTube 配信
5月26日(木)	プロトコルマナー講座① 「印象学・面接で選ばれる人になる講座～就活対策!アナウンサーのテクニック満載～」
6月21・23・24・27日	インターンシップキックオフ(合同企業説明会)
6月2日(木)	就職ガイダンス③ 「インターンシップのための企業選び&エントリー/合説後の動き方」対面+YouTube 配信
6月8日(水)・9日(木)	兵庫県企業ミニ合同説明会(オンライン開催)
6月9日(木)	筆記試験対策講座「WEB模試受験会」 予約制50名
6月16日(木)	就職ガイダンス④ 「インターンシップのための履歴書・エントリーシートの準備」対面+YouTube 配信
6月30日(木)	プロトコルマナー講座② 「印象講座・見た目編～好感度を60%上げる方法～」
7月7日(木)	就職ガイダンス⑤ 「インターンシップのための身だしなみ・マナー講座」対面+YouTube 配信
7月14日(木)	プロトコルマナー講座③ 「印象講座・声と言葉編～90分で好感度が40%上がる～」
7月28日(木)	就職ガイダンス⑥ 「就活準備 前期総まとめ講座(進捗確認)」対面+YouTube 配信
夏季休暇中	キャリアリーダーズキャンプ in みさき(早期就活集中セミナー)(3日間)

後 期	
月 日	行 事
9月14日(水)～21日(水)	後期受講登録ガイダンス
9月29日(木)	就職ガイダンス⑦ 「自己分析 Web テストフォローアップガイダンス」(ベネッセ) 対面+YouTube 配信
10月6日(木)	就職ガイダンス⑧ 「いよいよ就活本番に向けての動き出し!後期スタートアップ講座」 対面+YouTube 配信
10月13日(木)	就職ガイダンス⑨ 「学園理事長から就活生に向けて」対面+YouTube 配信
10月20日(木)	「業界・職種研究会」福井北ロータリークラブ
10月27日(木)	*留学生ガイダンス 2 「履歴書対策講座」
11月10日(木)	就職ガイダンス⑩ 「合同説明会の参加の仕方」(キャリアセンター) 対面+YouTube 配信
11月17日(木)	就職ガイダンス⑪ 「業界・企業研究講座」 対面+YouTube 配信
11月24日(木)	就職ガイダンス⑫ 「就活本番に向けたエントリーシート対策講座」 対面+YouTube 配信
12月1日(木)	プロトコルマナー講座④ 「最新ビジネスマナー～With コロナ時代のデキル社会人になる～」
12月2日(金)～15日(木)	学内合同企業研究会(対面開催)
1月12日(木)	就職ガイダンス⑬ 「就活本番に向けた面接対策講座(WEB 対策含む)」 対面+YouTube 配信
1月26日(木)	就職ガイダンス⑭ 「いよいよ就活解禁直前!総まとめ講座」 対面+YouTube 配信
1月11日(水)・19日(木)	証明写真撮影会
1月18日(水)	【2年生対象】 就職ガイダンス 「就活直前講座」 対面+YouTube 配信
2月1日(水)	【2年生対象】 プロトコルマナー講座⑤ 「ドリームライフコーチング講座～人生の羅針盤セルフコーチングの基礎を学ぶ～」
3月	都市圏就職活動セミナー 就職EXPO(バスツアー 名古屋・大阪)未定
4月～3月	個別指導(学科別)(エントリーシート、履歴書添削、模擬面接)(オンラインによる支援も含む) 個別説明会・個別研究会 随時実施

海外インターンシップ事業	
3月海外インターンシップ募集開始(3年生対象) 4月～7月事前研修 8月18日～9月6日海外研修実施 10月末 学内成果発表会	

医務室よりお知らせ

☎0776-29-2629(医務室)

☎0776-29-7867(学務課)



学内インフルエンザ 予防接種を行います。

福井工業大学では毎年大学構内でインフルエンザ予防接種を実施しています。

令和3年度は3日間実施し、368人の学生が予防接種を受けることができました。

予防接種料金は通常3千円〜4千円かかりますが、学内で受けた場合、後援会より1千円、学生健康保険組合より500円の助成があり、1500円の自己負担のみで受けることができます。毎年、多くの学生がこの機会を利用し、自身の感染予防対策に努めています。

近年はインフルエンザワクチン接種の普及や新型コロナウイルス感染症予防対策により国内のインフルエンザ流行もなく、大学でも2年以上インフルエンザに罹患する学生が出ておりません。今年度も学内インフルエンザ予防接種を3日間にわたり実施しました。

後援会からの予防接種のご協力、ありがとうございました。



基本的感染予防対策を 継続しましょう。

新型コロナウイルス感染症はまだまだ終息の兆しが見えません。大学では後期も引き続き、マスクの着用、手指消毒、各教室共有物の使用前の消毒の励行等、感染予防対策を継続していきます。学生の皆様も毎日の健康観察、基本的な感染予防対策を徹底し、少しでも体調に異変を感じたら大学を休み、県の受診・相談センターへ連絡、またはかかりつけ医療機関を受診するようにしてください。

また、新型コロナウイルス感染症陽性者、濃厚接触者になった場合は医務室、学務課までご連絡ください。

第59回 福井工業大学大学祭 ～工福の祭典～

令和4年9月23日（祝）および24日（土）に第59回福井工業大学 大学祭を開催しました。コロナ禍の中、3年振りに一般来場者を迎え開催した今回の大学祭は、大学を訪れた方々に笑顔や元気を与えられるような存在となる祭典にしたいとの思いから「工福の祭典」をテーマとしております。



オープニング バルーンセレモニー

オープニングはバルーンセレモニーから盛大に始まりました。大学キャンパス全体がイベント会場となっており、2日間にわたり、屋外特設ステージで、eスポーツ選手権大会を始めとするイベント、金井講堂ではキャンパスアイドルライブ、タレントのトークショーが行われました。



大学祭パンフレット

そのほか、学科イベント、クラブによる模擬店、若狭町・池田町の特産品販売、後援会

によるシューティングゲームなどキャンパス内は、多くの方で賑わいました。

学科イベントは、大学の各建物で開催され普段見ることのできない施設を見学でき、大学の教育研究について触れることができたなど、ご意見をいただきました。当日は、キャラクターショーもあり、小さなお子様からご年配の方々まで、地域の多数の方にご参加いただき、2日間の総来場者数は約3,000人となりました。



大学祭全体の様子



グランドフィナーレ 吹奏楽部による演奏

グランドフィナーレでは、吹奏楽部による演奏が行われ、大学祭を盛大に締めくくりました。

「工福の祭典」をテーマとして、福井工業大学を訪れた皆様に笑顔や元気を与えられた祭典となったと思います。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

後援会報告

後援会では大学祭にシューティングゲームを出店しました。2日間でのべ449人のブースへの来場がありゲームを楽しんでいただきました。

2日間の総売り上げ44,900円は、大学祭実行委員会へ全額寄付いたしました。協力頂いた役員の皆様はこの場を借りて感謝を申し上げます。



大学祭実行委員会へ
売上寄付



後援会 シューティングゲーム

学内奨学金制度紹介

特待生奨学金

学納金50%減免

対象：学部2年次以上または大学院博士前期課程
条件：前学期末までの成績 GPA 評価3.80以上
募集期間：前期・後期（年2回半期ごと）

学習奨励金

5万円給付

対象：学部2年次以上（大学院は対象外）
条件：前学期の成績 GPA 評価3.80以上かつ前学期の修得単位数が15単位以上
募集期間：前期・後期（年2回半期ごと）

育英奨学金

学納金30～70万円減免

対象：学部2年次以上、大学院全学年及び家計急変者
条件：保護者の前年度年収が400万円以下かつ前学期末までの成績 GPA 評価2.70以上または、家計急変事由が発生した場合
募集期間：前期・後期（年2回半期ごと）
家計急変については随時申請（※該当年度のみ適用）

スポーツ特待生奨学金

大会成績等により学納金又は授業料減免 ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：スポーツ実績評価型選抜による入学予定者または在学学生
条件：本学の規程による

災害特別奨学金

学納金等減免又は災害援助金支給

対象：入学予定者または在学学生
条件：被害状況による
募集期間：随時（ただし、被災日より1年以内）

外国留学奨励奨学金

学納金の半額を上限に、渡航費、生活補助費または、留学先の学費の一部補助

対象：学部2年次以上及び大学院全学年
条件：交換留学生または認定留学生として認められた者

大学院進学奨励奨学金

（第1種）学納金50%減免

（第2種）国立大学授業料標準額と本学学納金との差額を減免

※最大2年または3年間。毎年度末に継続審査有り

対象：本学が指定する入試区分で受験した入学予定者
条件：本学の規程による

離島・沖縄県出身者支援奨学金

国立大学標準額と本学学納金との差額を減免 ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：当該地域からの入学予定者
条件：保護者が当該地域に居住かつその地域において収入を得ていること

特別奨励金

奨励金支給

対象：在学生
条件：取得した資格、修めた大会成績による
募集期間：随時

推薦選抜奨学金

授業料50%減免

※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：本学が指定する入試区分で受験した志願者（一部入試区分では希望者のみ）
条件：基礎学力検査の合計点が100点満点中80点以上の得点者

一般選抜奨学金

（一）授業料全額免除 （二）学納金50%減免

※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：一般選抜 A 方式 I 期及び大学入学共通テスト利用選抜 I 期の志願者
条件：入学試験の合計点が一定の基準を満たしている者のうち成績上位者

高大連携協定校特別奨励金

入学金減免

対象：高大連携協定校に在籍している生徒で、指定校推薦選抜の入試区分にて出願する者
条件：高大連携協定校特別奨励金採用基準を満たしている者

注目! 在学生にご兄弟・ご姉妹がいる保護者様へ

兄弟学費減免奨学金

学納金50%減免 ※申請年度のみ適用

対象：学園の設置する各学校に兄弟姉妹が在籍している場合、希望する1名に対して減免
条件：学園の設置する各学校に兄弟姉妹が在籍していること
募集期間：年1回（4月～5月頃）

修学支援法に基づく奨学金との併用については別途お問い合わせください。

奨学金についての問い合わせ：学務課／☎0776-29-7867

ご相談窓口のご案内

学習・就職・学生生活など、日頃から気に懸かっていることやご心配ごとがございましたら、お気軽に下記担当課へご相談ください。

問い合わせ先		メールアドレス
総合窓口	0776-29-7864 (庶務課)	syomu-u@fukui-ut.ac.jp
学び(教務関係)	0776-29-7865 (学務課)	kyomu-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7870 (図書館)	tosyokan@fukui-ut.ac.jp
暮らし(学生生活関係)	0776-29-7867 (学務課)	gakusei-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-2629 (医務室)	imushitsu@fukui-ut.ac.jp
進路(大学院進学関係)	0776-29-7871 (入試広報課)	kouhou@fukui-ut.ac.jp
進路(就職)	0776-29-7868 (就職支援課)	syusyoku@fukui-ut.ac.jp
大学の研究支援、社会貢献活動、同窓会	0776-29-2661	shakai-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7834 (社会連携推進課)	futcrc@fukui-ut.ac.jp
センター管理課	0776-29-2671	center@fukui-ut.ac.jp
情報メディアセンター	0776-29-7873 (情報メディア課)	densan@fukui-ut.ac.jp
出納(学費納入関係)	0776-29-2821	
あわらキャンパス	0776-79-0111	
インターナショナルセンター	0776-29-2786 (国際交流課)	international@fukui-ut.ac.jp

※発信元や通信の事由が的確でない電子メールに関しましては、お応えしかねる場合がございますのでご了承ください。

後期行事予定

月	日	行 事	月	日	行 事
9月	15日(木)、16日(金)、 20日(火)、21日(水)	後期受講登録ガイダンス	1月	10日(火)	授業再開
	23日(金)～24日(土)	大学祭		13日(金)	大学入学共通テストに伴う休校日
	25日(日)	大学祭 後片付け		中旬	学園成人式
	26日(月)	後期授業開始		上旬～下旬	卒業研究発表会
11月	4日(金)	休校日	2月	4日(土)～	春季休業
12月	27日(火)～	冬季休業(～1月5日(木))		15日(水)	学位記授与式
				31日(金)	春季休業終了 学年終了

※上記日程は変更となる場合があります。

令和4年度

福井工業大学 保護者懇談会開催報告

令和4年度の保護者懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、福井地区の対面およびオンラインでの面談形式で実施しました。各会場の参加者は次の通りです。

開催一覧

開催地区	期 日	会 場	参加者数
福井地区	5月28日(土)14:00～	福井工業大学 福井キャンパス	23名
	6月25日(土)11:00～	オンライン	28名
	7月23日(土)11:00～	オンライン	14名
合 計			65名

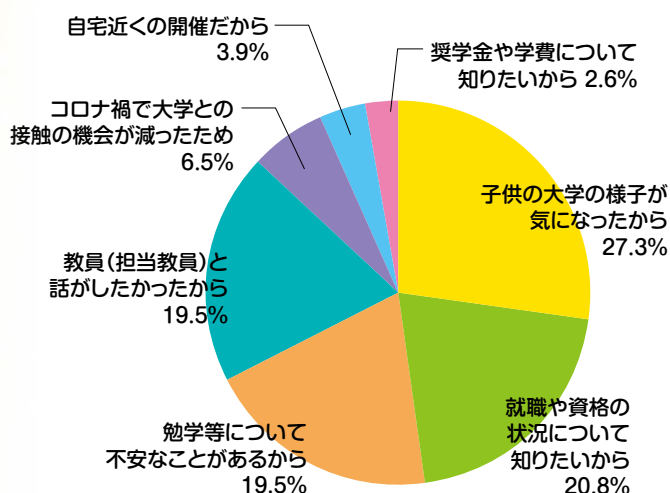


コロナ禍による、対面授業やクラブ活動に一部制限がある中、担当教員と就職を支援するキャリアセンタースタッフがご子息・ご息女の現状について、お伝えするとともに保護者の方と情報を共有しました。

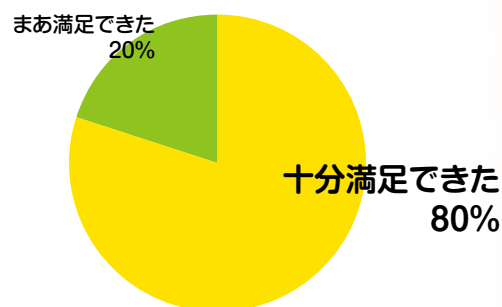
参加いただきました保護者の方からは、コロナ禍における普段の授業、就職活動の現状を聞くことができ、満足とのお話をいただきました。



01 本日の地区懇談会へ参加を決めた理由についてお伺いします(複数回答可)

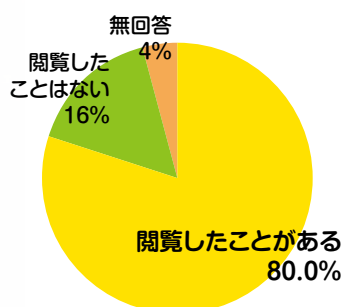


02 教員との個別面談について



- 大学の様子や勉強の状況が聞けたり、今後の就職に向けての話もさせてもらえて良かったです。
- 内定先の会社のお話を詳しく教えていただきました。資格の勉強についても説明していただけて良かったです。
- 先生と直接話す機会を設けていただきよかったと思います。
- 本人の性格を理解して指導していただいているのが分かり、良かったです。
- 就職や資格、大学での様子をわかりやすく丁寧に話してくださり安心いたしました。あらためて福井工業大学に通えてありがたいと思いました。
- 卒業研究についてわかりやすく伝えてもらったこと、就職に希望する企業が福井でどのくらいあるのかを知ることができたこと(IT企業がどのくらいあるのか)
- 学校での子供のことはあまり知らなかったため、いろいろ知ることができてよかった。
- こちらの不安に思うことをしっかり聞いていただきました。ありがとうございました。
- 子供の大学生活や就職活動について丁寧にわかりやすく説明いただき安心することができました。
- 就職へ向けての今後の見通しが持てた。現時点での学校での様子・勉強への取り組み状況が知れた。

03 後援会のHPをご覧になったことはありますか



04 就職セミナーで取り上げて欲しい内容

- 就活の予定表などがあると親も相談、決断しやすいです。
- 就職後の卒業生の声が聞きたい。(職場環境や就職してからの感想など)
- 福井工業大学の就職先の傾向やインターンシップについて
- 1、2年次からの就職に対する意識づけの取り組み方
- 就職活動への保護者のサポート方法についてやコロナ禍における就職活動の状況について

06 大学への意見、要望・ご感想があればご記入ください(抜粋)

- 担当の先生がいてくれてよかったと思いました。細かく指導ができていると思いありがたかったです。
- オンラインの保護者会はとても参加しやすいです。(移動の時間も不要で助かりました)
- 会報誌以外でもHPにて生活の内容、行事の様子などを見てみたい。
- 懇談会をしていただけるのは本当にありがたいことです。先生方にも時間をとっていただくことにはなるのですが、今後も子供たちのためによりしくお願いいたします。
- 県外在住でコロナ禍の為、福井へ何うことができず、どんな学生生活を送っているのかあれこれ心配しておりました。今回の懇談会で、先生方から大学でのエピソードやそれにより成長する様子が見られたことなど、具体的なお話を何うことができて大変有意義でした。学生一人一人を見てご指導いただけて有難く思います。本年度で卒業(予定)となりますが、最後までよろしくお願いいたします。

05 学生へのサポート等について要望があればご記入ください

- 駐車場代の補助
- たくさん就活できるように、就活の履歴書を1冊でも補助があればうれしい。
- 栄養のある食事とってほしいので、食堂の500円無料チケットや1か月50円引き券などがあればうれしい。
- オンライン授業が多かったこともあり、学生へのネット環境の提供やパソコン講座のサービス、サポートがあればよいと思います。



令和4年度 福井工業大学 後援会

就職セミナー

11月26日(土)

10:00 ~

会場

福井工業大学 福井キャンパス
福井市学園3-6-1

就職セミナー

10:00 ~ 11:00

「就職を取り巻く環境と保護者の役割」

講師 外部講師

来学できない方に対して、オンラインまたはオンデマンド配信を予定しております。詳細は後援会 HP に後日掲載いたします。

個別相談

11:00 ~ 12:00

“聞いてみたい？
あんなこと & こんなこと”

対応 本学キャリアセンター職員

例えば、
就活への手助け、
アドバイスの
ノウハウ

etc

申し込み先・お問い合わせ

後援会ホームページより、Web申込み可能
福井工業大学 後援会事務局 TEL:0776-29-7864

重要

申込後、受付完了メールをお送り致します。「koenkai@fukui-ut.ac.jp」からのメールを受信できるように設定をお願い致します。

申込期日／令和4年11月17日(木)

コロナ禍における
就職活動サポートについて考える



申し込みページ
QRコード